

### 設置目的

美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与することを目的とする。

### 運営方針「美術館がめざすもの」

政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

- 1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す  
「発見する美術館」
- 2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
- 3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
- 4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
- 5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

平成 24 年 9 月策定

## 新潟市新津美術館

### 設置目的

市民の芸術に関する市民の知識及び教養の向上並びに芸術文化の交流の推進に寄与することを目的とする。

### 運営方針

市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館

#### 1. 何かが見つかる美術館

美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育みます。

#### 2. 明日へ向かう美術館

美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践します。

#### 3. みんなと歩む美術館

他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを実践します。

平成 24 年 9 月策定

## 令和6年度 新潟市美術館 事業計画

## I 展覧会事業

## 1. コレクション展

期 間	事 業 名	内 容
(3月1日) ～ 4月21日	(コレクション展4) 前年度継続	展示期間に配慮しつつ館を代表する所蔵作品をバランスよく紹介しながら、企画展や季節に合わせて構成する。
4月26日 ～ 6月30日	コレクション展1	

## 2. 企画展

期 間	事 業 名	主 催	内 容
4月13日～ 6月2日 (45日)	もしも猫展	新 潟 市 (実行委員会を組織)	名古屋市博物館企画監修、同館所蔵品を中心に江戸時代後期、とくに歌川国芳の浮世絵を題材に「もしも猫だったら」と親しみやすく擬人化表現を紹介。《巡回展》
6月22日～ 8月25日 (58日)	遠藤彰子展	新 潟 市	当館にも所蔵のある洋画家・遠藤彰子(1947-)の個展。豊かな物語性に満ちた圧倒的スケールの作品群によって70年代から現在に至る画業を振り返る。《巡回展》

※ 10月～2025年7月(予定)まで大規模改修工事により全館休館予定

## II 教育普及事業

### 1. コレクション展関連

展覧会	事業名	内容
コレクション展1	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など 2回程度

### 2. 企画展関連 (※現在開催が決定している事業分のみ)

展覧会	事業名	内容
もしも猫展	講演会	企画者である名古屋博物館学芸員 津田卓子氏を講師に迎え、出品作品を中心に講演いただく。
遠藤彰子展	講演会	作家自身が自作を語り、展覧会への理解を深める。
遠藤彰子展	ワークショップ	作家の指導により、楽しみながら制作を体験する。内容については作家と協議。

### 3. 学校向け教育普及事業

期間	事業名	内容
7月～8月	ARTRIP (アートリップ)	美術館での鑑賞体験をさらに深めるために、学芸員による学校での出張授業(出前)と美術館での団体観覧(送迎バスを用意)をセットにしたプログラム。指導目標、授業のねらいに応じて学校と話し合いながらオーダーメイドの鑑賞授業を行う。
各企画展開催期間中の1週間	教職員視察ウィーク	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。鑑賞のガイドを発行するとともに、モニターアンケートを実施。

### 4. 各種講座

期間	事業名	内容
6月～3月	美術講座	館長及び学芸員が各回を担当する講座。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施。休館中は館外施設で予定。
7月	実技講座	実際の制作を中心に多様な表現・技法に親しむ講座。鑑賞につなげることに重点を置く。〔遠藤彰子氏に依頼、1回程度開催予定〕
8月	子ども講座	小中学校の子どもを対象に、館内の探索や実制作によって美術に親しんでもらう講座〔1回程度開催予定〕

### 5. 子育て世代への取り組み

期間	事業名	内容
6月	ベビーカーデイ	乳幼児同伴の家族が無料でコレクション展を観覧できる日を設定。カフェと協働し、子育て世代に身近に美術に親しんでもらう機会とする。〔1回程度開催予定〕

### Ⅲ 調査研究事業

#### (1) 研究紀要の発行

・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市新津美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

#### (2) 年報の発行

・美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに今後の活動に活かすため、新津美術館と共同で作成。

### Ⅳ 収集保存事業

#### (1) 収蔵・展示環境保全

・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、IPM(総合的有害生物管理:カビ・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

#### (2) 作品保存・修復

・R4年度調査を踏まえ作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

#### (3) 作品管理

・作品リストのデジタル化を進めてカード(紙)とデータで2元管理を行い、事務の効率化を図る。

### Ⅴ 施設普及事業ほか

・美術館ニュース「Wave」の発行、Lounge Nでの「きままプログラム」など施設普及イベントの実施等を予定。

### Ⅵ 改修工事

・開館40周年を前に、空調・外壁等の施設改修を行うとともに、収蔵庫等の照明をLEDに更新予定。

これに伴い、例年10月に開催している新潟市美術展覧会を繰り上げて開催し、10月以降2025年7月まで休館する。

(詳細別紙)

## 令和6年度 新潟市新津美術館 事業計画

## I 展覧会事業

## 1. コレクション展

期間	事業名	内容
3月20日 ～ 5月16日	コレクション展Ⅰ	「ホキ美術館名品展」に合わせて検討中。
5月25日 ～ 7月7日	コレクション展Ⅱ	「ゴールデンカムイ展」に合わせて検討中。
7月20日 ～ 9月29日	コレクション展Ⅲ	「マルク・シャガール版画展」に合わせて検討中。

## 2. 企画展

期間	事業名	主催	内容
3月20日～ 5月16日 (53日)	ホキ美術館名品展	新潟市 (実行委員会を組織)	世界初の写実絵画専門の美術館として2010年千葉市に開館したホキ美術館。実物以上にリアリティを感じるような驚きの写実絵画の世界を、野田弘志や森本草介ら著名作家から中堅若手作家による作品まで、厳選された62点の所蔵品で紹介。 《巡回展》
5月25日～ 7月7日 (41日)	ゴールデンカムイ展	新潟市 (実行委員会を組織)	明治末期の北海道・樺太を舞台に、漫画家・野田サトルが描いた人気漫画『ゴールデンカムイ』（週刊ヤングジャンプで2022年4月28日発売号で連載完結）。手塚治虫文化賞や文化庁メディア芸術祭でも受賞を重ね、高く評価された作品世界を、豊富な原画や関連資料で紹介。全国7会場巡回の最終開催地。 《巡回展》
7月20日～ 9月29日 (65日)	マルク・シャガール 版画展	新潟市 (実行委員会を組織)	20世紀のパリを中心に活躍した画家マルク・シャガール(1887-1985/現ペラルーシ出身)。生涯で2000点以上手掛けた版画作品の中から、傑作として名高い『ダフニスとクロエ』を含む8つの版画集を中心に、284点を展示。 《巡回展》
1月18日 ～3月9日 (46日)	共鳴(レゾナンス) 新潟市美術館と新津美術 館の両館所蔵品による	新潟市	改修休館中の新潟市美術館所蔵品を活用し、新津美術館所蔵品と併せて展示。これまで展示機会の少なかった両館所蔵品を中心に紹介。 《自主企画展》

## II 教育普及事業

### 1. 企画展関連

企画展にあわせ、より理解を深めるための講演会などの関連事業を計画予定。

### 2. 学校向け教育普及事業

期間	事業名	内容
6月～1月	出前美術館	申し込みのあった学校(小中学校・高校等)へ作家とともに出向き、作家の話を聞いたり、作品制作体験などのふれあいの中で美術の楽しさを伝える、作家と作品を出前する事業。アートカードを使った鑑賞教育事業も別プログラムとして実施。(7～8校程度実施予定)
各企画展の開催期間中	教職員視察研修観覧	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。

### 3. 各種講座

期間	事業名	内容
6月～3月	美術講座	学芸員が各回を担当する講座。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施〔7～8回程度開催予定〕

## III 調査研究事業

### (1) 研究紀要の発行

・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

### (2) 年報の発行

・美術館の諸活動を他館や関係機関に報告するとともに今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で作成。

## IV 収集保存事業

### (1) 収蔵・展示環境保全

・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、IPM(総合的有害生物管理:カビ・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

### (2) 作品保存・修復

・R5年度調査を踏まえ作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

### (3) 作品管理

・作品リストのデジタル化を進めてカード(紙)とデータで2元管理を行い、事務の効率化を図る。

## V 施設普及事業ほか

### (1) ミュージウムコンサート

・館の特徴であるアトリウム空間や展示室を活用して、コンサートを実施する。

### (2) 利用者しやすいサービス

・各展覧会中の第2・第4の木曜・土曜日に「託児サービス」を実施する。

・各展覧会中の第1・第3の木曜・日曜日に、親子で語り合いながら鑑賞できる「こどもタイム」を実施する。

・各展覧会中に1～2回は月曜日開館を実施する。

## 新潟市美術館大規模改修工事概要

### 1 工事概要

新潟市美術館は1985年の開館後、間もなく40年を迎える。設計は近代建築のパイオニア的存在の前川國男氏で、前川氏にとっては最晩年の美術館となる。

この間、10年目の1994年には美術館機能の拡充を図るため常設展示室を増築、20年目の2005年には企画展示室の照明の全面更新などを行い、30年目の2014年には時代に即した使用勝手の変化に対応する改修や一部老朽化対策を行った。

そして2024年10月から、老朽化した美術資料の展示保存環境維持に不可欠な空調設備の更新をはじめ、施設の長寿命化や安全基準への対応のための外壁タイルの補修やエレベーターの更新、照明のLED化など、この先も美術館機能を維持できるように大規模改修工事を行う。

### 2 工事内容

#### ○ 建築工事・昇降機設備工事

- ・屋上防水材の再塗布      ・外壁補修      ・シャッター更新
- ・外部鋼鉄製窓の再塗装、フィルム張替え      ・市民ギャラリー壁面の再塗装
- ・展示室可動パネルのメンテナンス      ・乗用と荷物用エレベーターの更新 など

#### ○ 電気設備工事

- ・耐用年数を迎えた照明器具のLED化      ・非常放送アンプ、スピーカー更新
- ・自動火災報知設備更新      ・ガス遮断弁操作盤更新
- ・受変電設備（高圧気中開閉器）更新 など

#### ○ 機械設備工事

- ・冷温水発生器、冷却塔、ポンプ類更新      ・収蔵庫用個別空調機更新
- ・中央監視盤、センサー等更新 など

#### ○ 衛生設備工事・ガス設備工事

- ・給水ポンプ、配管の更新      ・排水管、空調配管の管更生      ・ガス管更新
- ・ハロン消火設備配管更新 など

### 3 工事に伴う全館休館期間

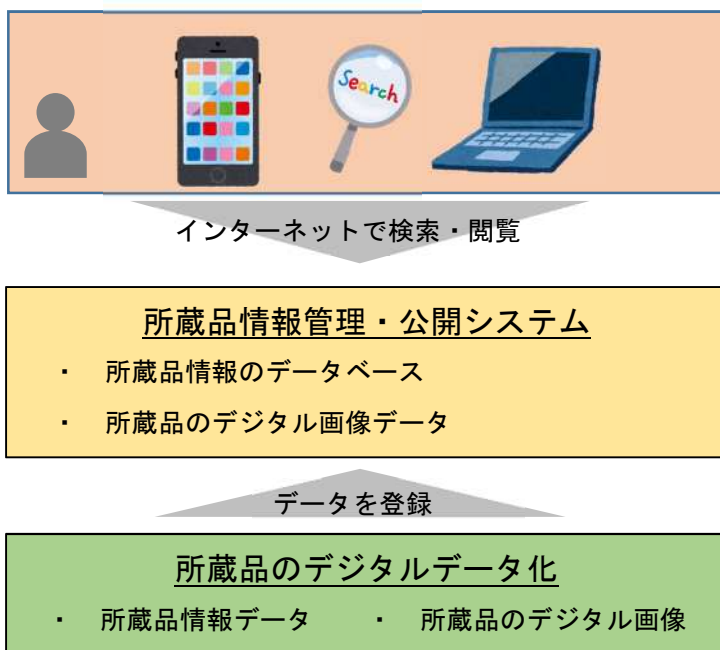
令和6年10月～令和7年7月（予定）

## 所蔵品のデジタルアーカイブ化事業

### 1 事業化の背景

- 令和5年4月1日に施行された改正博物館法において、博物館が取り組むべき事業の見直しが行われ、博物館資料のデジタルアーカイブ化が追加された。これは、美術館の役割として、これまでの美術作品の収集・保存に加え、その活用にも力を入れていくことを文化庁が示したものである。
- また、新潟市総合計画 2030 の指標である「文化芸術活動（鑑賞含む）を行う市民の割合向上」に資するため、所蔵品のデジタルデータ化とインターネットを通じて公開・情報提供（デジタルアーカイブ化）することは、貴重な所蔵品の価値が公共に共有され、広く市民の文化芸術活動や学習活動の推進に寄与するものとなることから、美術館としても取り組むべき課題と捉えている。
- 新潟市美術館は令和6年10月から大規模改修に伴う休館を予定しており、この期間を利用して準備・導入し、令和7年3月頃に公開することで、美術館サービスの向上を図るとともにリニューアル効果を高めることができる。

### 2 デジタルアーカイブ化事業のイメージ



### 3 想定スケジュール

- 令和6年度中 所蔵品情報のデータ作成・整理、所蔵品のデジタル写真撮影、ポジフィルムのデジタルデータ化、
- 令和7年1月～ データセットアップ・運用テスト
- 令和7年3月 ホームページで公開